

課題番号7

基本方針：Ⅱ		課題名：土地利用型野菜の生産安定と販路開拓	
対象：宇陀高原野菜出荷グループ JA宇陀地区高原野菜部会 カボチャ生産者等		計画期間：H29～R1	
		事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）	
①高単価時期出荷向けカボチャの導入	有望品種の実証 現地指導 出荷先の検討	高単価栽培面積	0.04ha → 0.35ha
②祝だいこんの面積拡大	洗浄機導入支援 作業改善実証 現地指導	栽培面積	1.8ha → 3.1ha

総合評価（コメント）
<p>A：6名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■素晴らしい取り組みで、JAならけんとしても、山添村の取組みを拡大して、全県下に波及していく方向にいます。</li> <li>■高齢化する生産者が、生きがいを持って取り組める野菜の生産安定と販売開拓に、今後も関係機関との緻密な連携を図る取り組みを進めて頂きたい。</li> <li>■より一層、生産面積が増えるのを期待する。長期出荷のできる品種の組み合わせがあれば、より良いのではないかと。</li> <li>■普及活動はおおむね適切である。</li> <li>■成果を上げているが、更に農家の収益向上につながる取り組みを期待する。</li> </ul>

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■カボチャ 高単価時期に出荷する栽培については、生産者や農協担当者より一定の評価を得ており次年度も栽培が継続されます。今後、定着と面積拡大できるように一般活動により継続して支援を行う予定です。 他地域への取組み拡大については今後関係機関の担当者と協議を進めていきたいと考えています。</li> <li>■祝だいこん 洗浄機の導入により調製時間が短縮されたことから、一定の面積拡大が図られました。 播種・間引きの省力化の課題は残りましたが、今後も一般活動で支援を行う予定です。 また、農業全体で労働力不足が問題になっていますが、祝だいこん経営においても大規模生産者、新規取組者問わず、年末の短時間労働者（パートタイム）の確保が難しくなりつつあります。 今後は、産地全体の労働力確保対策についても検討したいと考えています。</li> </ul>